

平成30年度 向日市競輪対策協議会議事録

開催日時	平成31年2月5日（火） 午後2時00分から3時00分まで
開催場所	向日市役所 本館3階 大会議室
出席委員	安田市長（会長）、五十棲副市長（副会長）、中山向日市区長会長、 田村向日台連合自治会副会長、岡崎寺戸連合自治会長、片山向日 区長、高橋向日市商工会長、磯野府議会議員、永井市議会議員、 松山市議会副議長、近藤まちづくり・競輪対策特別委員会副委員 長、山本京都府山城広域振興局副局長、高野京都府自転車競技事 務所長、水口京都府乙訓土木事務所長、湊田向日町警察署地域課 長（向日町警察署長代理）、前田京都府総務部副部長、古澤京都 府総務部総務調整課長
欠席者	山本向日市小・中校長会会長、栗田向日市PTA連絡協議会理事、 北林まちづくり・競輪対策特別委員会委員長
事務局	鈴木総務部長、林総務部副部長、中埜総務課長、荒賀総務課行政 係長、別所総務課主査
関係職員	
（京都府）	石田京都府自転車競技事務所次長、尾崎京都府総務部総務調整課 副主査
（向日市）	大野企画理事、福岡建設部長
傍聴者	1名
議 題	（1）競輪開催状況等について （2）その他
内 容	
自転車競技 事務所長	議題（1）競輪開催状況等について説明

- P1 「入場人員及び売上額推移」
「本場開催」・向日町競輪場でレースを行うもの

「場外開催」・・・他の競輪場で開催されているレースの場外車
券売場となっている場合の状況を示したもの

本場開催時のピーク

平成 2 年度 開催日数：87 日 入場：57 万 6 千人
売上：356 億円



平成 29 年度 開催日数：46 日 入場：6 万 6 千人
売上：109 億円

場外開催

平成 29 年度 入場：31 万 4 千人 売上：42 億円

- 平成 29 年度は前年度に比べ入場人員及び売上額は約 6 % 減少。また、平成 29 年度の本場開催による売上額の内訳としては、インターネット等での売り上げが大半を占めており、本場での売り上げは約 6 % であった。

P 2 「駐車場の利用状況推移」

- 駅からの無料送迎バスのほか、車で来場するファンのために 1,028 台の駐車スペースを確保している。昨年度より 82 台の駐車台数が減少した理由としては、市役所北側の民有地を駐車場として借りていたところ、利用者数の減少もあり契約を解除したためである。

平成 29 年度の実績では

- ・ 本場開催 平均 317 台／日
- ・ 場外開催 平均 218 台／日 となっている。

P 3 「平成 30 年度入場人員・売上額・駐車状況」

- 大阪北部地震の影響により、平成 30 年 6 月及び 7 月は本場開催を中止した。
- 9 月は平安賞を開催したこともあり、売上が他の月よりも多くなっている。
- 今年度より奈良競輪場にてミッドナイト競輪を開催。午後 9 時から 11 時半ごろまでの時間帯に無観客の状態を実施するこ

とで効率よく収益を上げられる。今年度はこれまで9日間実施し、3月に3日間実施予定である。

平成30年度 既開催日数：9日 売上額：12億3千万

P4 「施設利用状況」

- 向日町会館やスポーツ施設などの施設利用人員については、約16万8千人であり、そのうち約15万人が乙訓商工・観光協議会主催の「大物産展＋KARA1グランプリ」及び「向日市まつり」の開催によるものである。

議題（2）その他について説明

「競輪場の運営」について

- 外部委託については、民間事業のノウハウを生かして、経営改善を行う目的で行っており、今年度が2年目となる。主な改善点は投票窓口の集約や利用者の少ない時間帯の無料送迎バスの便数を減らすことで経費を削減を図っているところ。

「競輪場周辺の清掃や警備」について

- 包括民間委託後も従来どおり必要な水準を確保しており、目立った変更点はない。

「競輪ファンを増やす取り組み」について

- 若い方に来てもらえるように、ホームページの活性化、インターネットによる生中継、競輪初心者向けの教室等、様々なファンサービスを行っている。また、中国語圏の観光客を誘致するため、中国語によるホームページの紹介動画を作成した。京都パープルサンガとのコラボも行い、西京極総合運動公園で向日町競輪場のPRを行った。

「アマチュア自転車競技の振興」について

- 向日町競輪場で月に1回、土日にプロ競輪選手による指導が受けられる機会を設けている。現在、会員は約520名と増加している。

新たな取り組みとして、「サイクルパーク京都」という名称でBMXの施設を設置。ジャンプ台を3か所設営、初心者や小

さな子も練習できるようなコースも設営。また、「BMXフリースタイルジャパンカップ3 京都大会」を誘致し、12月に開催したところである。開催日には多くの観客が来られ盛り上がりを見せた。

「平安賞」について

○ 今年度は9月22日から9月25日までの4日間開催し、売上は48億円であり、前年より8億円減少となった。全国的に記念競輪大会の売上が減少しているところである。

「魅力のふるさと むこう、むこう。賞」について

○ 今年度は8月6日から3日間開催した。来年度は8月22日から24日を予定しており、今後も引き続き向日市の魅力を全国に発信していきたい。

会 長 自転車競技事務所から説明がありました競輪開催状況等について、ご質問がございましたらお願いします。

委 員 台風により被災したテントは年度内にすべて修繕されるのか。

自転車競技
事 務 所 長 テントについては軽微な被災箇所については今年度内に修繕を予定しているが、大規模に被災してしまっている部分については一旦撤去をさせていただく予定。撤去した部分については簡易なテントで対応できないか検討中である。

委 員 電光掲示板についてはもう使わないのか。

自転車競技
事 務 所 長 電光掲示板は現在壊れている状態であり、復旧させるには数千万円かかるとのことであるため、現在のところ具体的に修繕を行う予定はない。

委 員 民間委託の今後の計画についてはどうなるのか。

京都府総務部

副 部 長 包括民間委託については一定額の黒字も出ている状況であり、府としてもくろんでいた効果以上の結果が出ている。今後については、現在検討をしているところである。

委 員 外国人観光客の誘致について効果が出ているか。

自転車競技

事 務 所 長 目に見えて効果が出ているというところまではっていない。関西国際空港の外国人向けパンフレットにも掲載してもらったりしているが、効果が出るには少し時間がかかると思われる。

会 長 意見も出尽くしたようでございます。京都府におかれましては、この場で出ましたご意見ご要望を十分ご検討、ご配慮いただき、今後の競輪運営に当たっていただききたいと思います。

本日は皆様、お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。ありがとうございました。